News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成 26 年 11 月 14 日　No.15
発行責任者：校長　櫻井郁男

烽火（狼煙）から〇〇〇まで

I校では毎週全校朝礼があります。幼児部年中児から高等部 2 年生までを相手に校長・教頭が数分間のお話をします。前任校長は「教頭の話は(話の構成や話し方を先生方が学ぶ)授業ですよ」と語り、朝礼の大切さを説いたそうです。それを聞いた私は、小中併設校に勤務した 3 年間、「ここのつ」の年齢差がある児童・生徒に語ったことを思い出しました。

さて、LI 校の朝、体育館に集合した児童・生徒はざわざわとして落ち着いている様子はありません。ところが流れている日本の童謡や唱歌がやみ、教頭が手を挙げ、グウとパーの合図をすると全員が起立や体育館座りをするのです。続いて元気な声で「おはようございます。」との挨拶をかわし、「講話」が始ります。 270 名の子供たちに語りかけることにはテクニックが必要です。教頭は常々教員に授業で子供の心をつかむためには「小道具」が必要と説いています。そこで私はお話の度にに小道具を用意することにしました。

明日は、今年3度目のお話をする日です。小道具は紅白の旗にすることにしました。年長の子供たちは旗に注目してくれることでしょう。中・高等部の生徒は「校長は何の話をするのだろう」と冷ややかに？ 眺めているのかもしれません。

さて、ようやく本題です。



動物は鳴き声等で意思を伝えているのでしょう。人は言葉で感情や意思を伝えることができます。しかし、遠く離れた人同士の連絡は大声にも限りがあります。(モンゴルでは風に乗せて 10 キロ以上の人と･･･風上には伝えられませんね。)

そこで情報伝達の手段として、紀元前の時代から世界各地で狼煙が使われました。煙の色や煙を出すタイミングの約束事を事前に決め、価値ある情報が伝達されたのでしょう。乾隆帝の時代、新疆から西安・北京まで、情報はその日のうちに伝わったと聞いています。

海上で発達したのは灯火信号や手旗信号でした。手旗信号は文章を伝えることができます。そして情報の伝達は電信・電話によって飛躍的に速く大量に情報を伝達することができるようになりました。モールス信号は世界共通信号となり、電話は瞬時に双方向の意思の伝達ができる画期的な発明でした。

そろそろ中高等部の生徒諸君は話の続きが「読める」ことでしょう。

電話を駆使し、ロンドンとニューヨークの時差を活用した仕事(今は 1/1000 の時差の活用)は、ウォール街を舞台に行われました。そして、コンピュータが一般に活用され(40 年ほど前)、20 年ほど前のインターターネットの解放は世界を瞬時につなぎました。メールから画像そして動画、それも不特定多数の人々に、または指定した仲間同士で(〇〇〇を利用して)情報が交換される時代になったのです。

ヒトが人となってからどのくらいの年月(世代交代)があったのでしょうか。私が子供の頃夢としか思えなかった物が溢れ、事が起きています。半世紀以前に生まれた漫画「鉄腕アトム」には物質伝送の機器が使われています。まさか、お茶の水博士を伝送することはできませんが、3Dプリンターは「手塚修虫」の予言を現実のものにした、といえるでしょう。